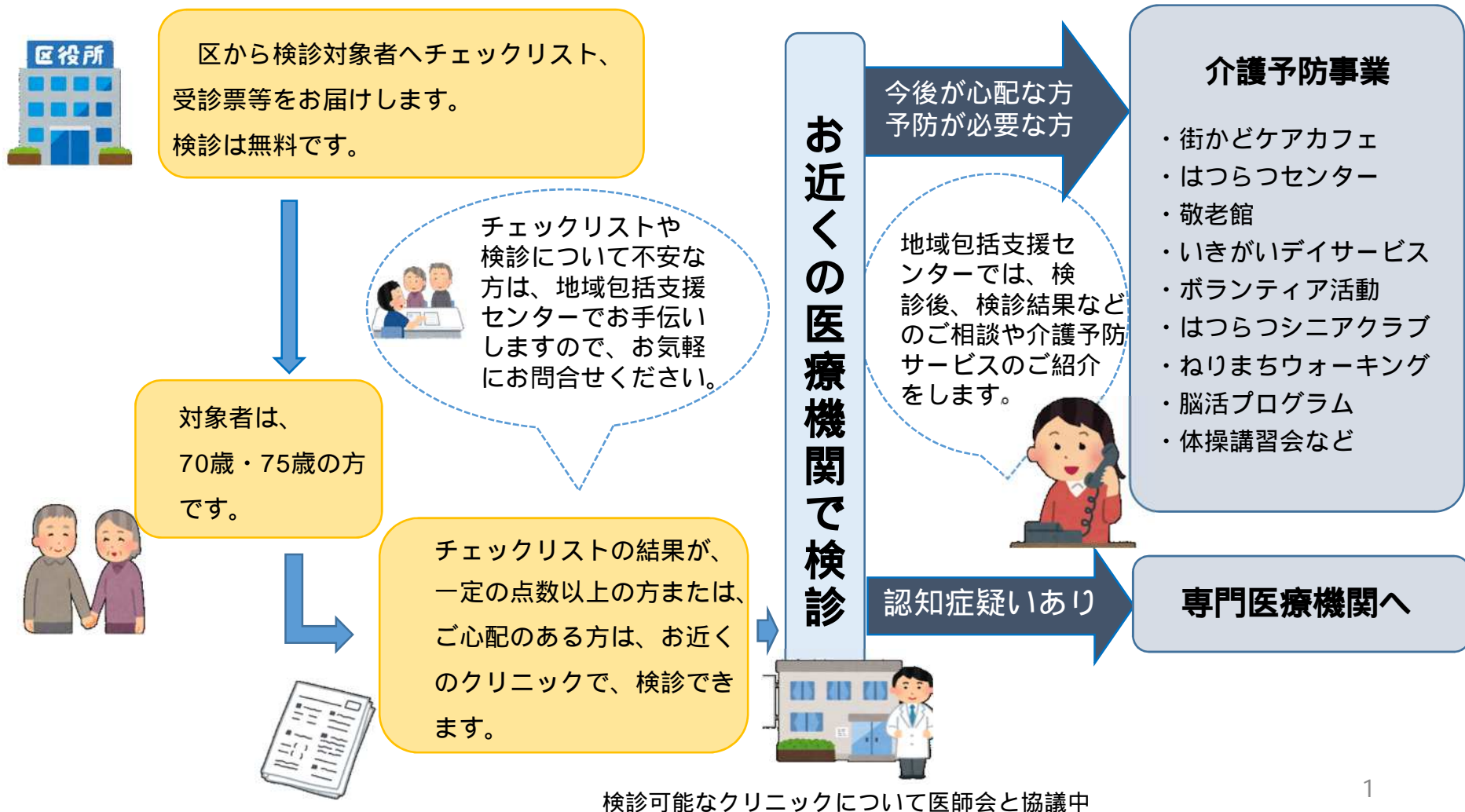


第8期計画関連事業について もの忘れ検診のながれ

資料4-2

もの忘れの症状が軽度のうちに認知症に早期に気づき、適切な医療や介護予防の取組みにつなげ、住みなれた地域での生活を維持する。



認知症の方本人による地域活動の実施（チームオレンジ） （イメージ図）

地域包括支援センターでの認知症に関する相談

ご本人・ご家族との相談により、生活上のニーズを把握する。介護保険サービス等でまかなえない事柄について、チームオレンジ活動へのつながりも念頭に相談する。

地域包括支援センター



街かどケアカフェなどを活用した本人ミーティングの開催

街かどケアカフェ等、ご本人・ご家族がゆるやかに通える場を紹介、利用し、拠点やカフェ運営者になじんでもらう。通いの場にご本人・ご家族、認知症サポーターなどが集まり、悩みごとの解決や、具体的な活動について話し合う。



ニーズの聞き取り、記録

地域での活動について検討

参加・協力

参加・協力・主催

チームオレンジ活動

ご本人・ご家族と認知症サポーターなどが活動を行う。適時、ミーティングで振り返りを行う。

活動の支援・応相談

地域の認知症サポーターなど

本人ミーティングから出てきた意見をもとに、具体的な活動に認知症サポーターなどがかわる。



活動継続



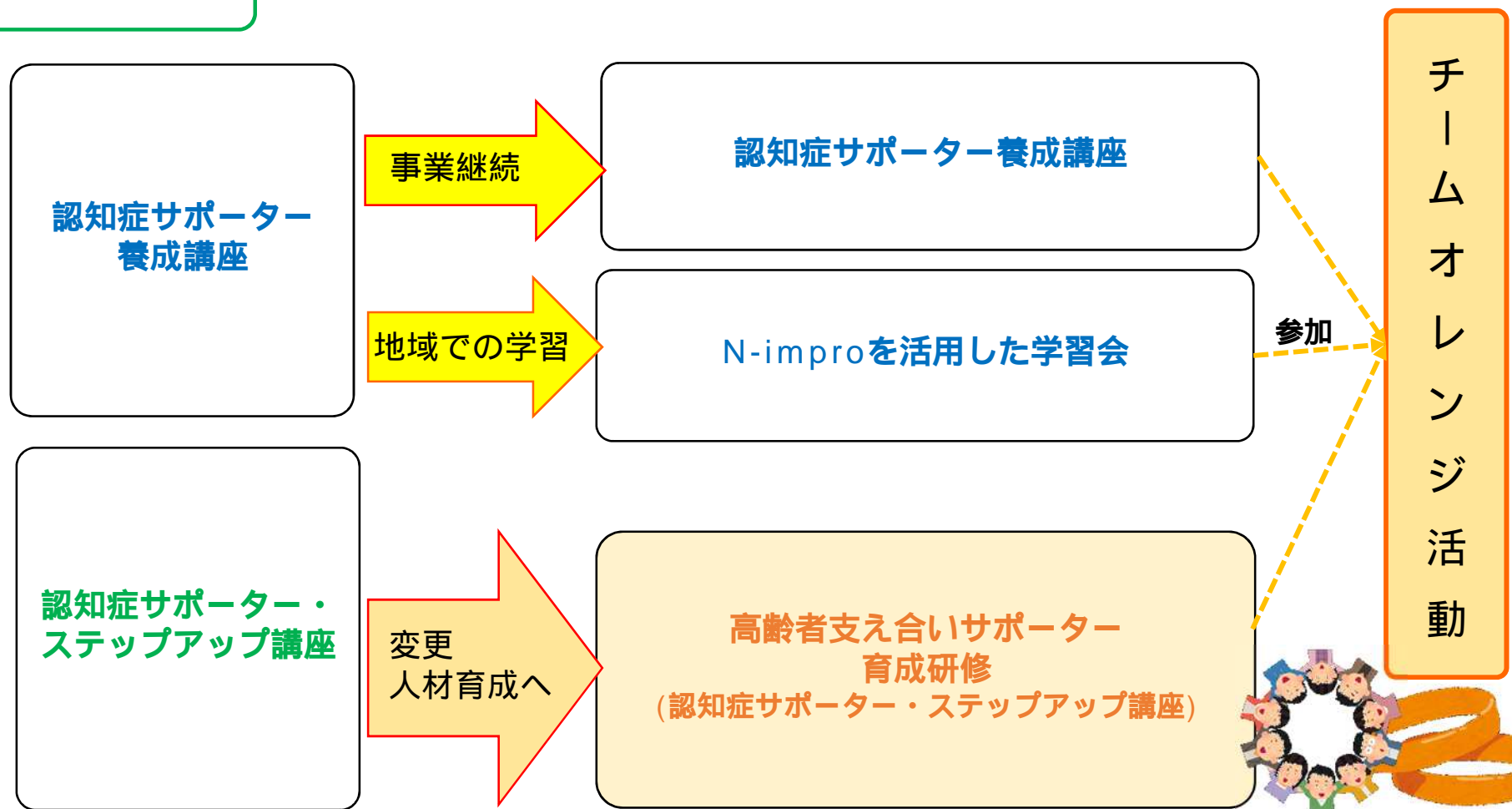
- ・ N-improを活用した認知症の学習会の参加者
- ・ 認知症サポーター
- ・ 認知症サポーター・ステップアップ講座受講修了者
- ・ 高齢者支え合いサポーター育成研修修了者 など

認知症本人および介護家族支援の強化・再編について

事業1 認知症本人および家族への支援

変更のポイント

チームオレンジの活動へつなげるため、認知症サポーター養成講座は地域での開催中心とする。
高齢者支え合いサポーターを練馬区の認知症サポーターステップアップ講座に位置付ける。



事業2 介護家族への支援



変更のポイント

介護者に対するケアの継続性
介護者自身が高齢であることへの配慮

- ・ 家族介護者教室
- ・ 認知症地域生活講座

一回2時間 講座形式

認知症地域生活講座（年3回）は
地域密着サービスを限定紹介

介護者も高齢

- ・ 介護家族の学習・交流会

一回2時間 年4回
講義とグループワーク

継続的なケア

- ・ 介護家族支援者交流会

一回2時間の講義
グループワーク

- ・ 介護なんでも電話相談

毎週水曜日

継続

（仮）介護学べるサロン

一回2時間程度デイサービス等で実施

対象は限定しないが、高齢者でも疲れのないようカフェを基本に健康講話・認知症基礎講座
認知症ガイドブックによる講話・体操・リフレッシュ活動・サービス紹介等を行う

（仮）介護相談・交流カフェ

年10回

一回2時間程度

街かどケア・カフェ5か所で実施
悩みやストレスを抱える介護者向け

カフェ形式でピアサポート・学習・リフレッシュ活動を組み合わせる

事業3 認知症の医学知識の普及

変更のポイント

専門知識の普及は専門病院との連携により継続
高齢者向けに地域開催で負担の少ない形態（カフェ形式）



医師が話す認知症基礎講座

知識の普及

（仮）認知症医学講座

年1回

一回2時間 講義形式

精神科病院との共催

対象を限定せず区立施設で実施

基礎から専門知識まで幅広く取り上げる
（含、若年性認知症）

若年性認知症講演会

身近な地域で
負担の少ない学習

（仮）介護学べるサロン

健康講話

一回2時間程度デイサービス等で実施

対象は限定しないが、高齢者でも疲れな
いようカフェを基本に健康講話・認知症基礎
講座認知症ガイドブックによる講話・体操
リフレッシュ活動・サービス紹介等を行う